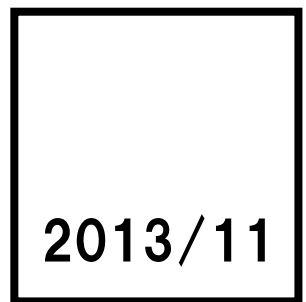




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する  
全国有数の〈社史コレクション〉を  
さらに活用していただくため、  
社史の使い方や、社史の楽しさ、  
社史情報などをお届けしていきます。



「漫画の社史ってありますか？」を、時折受けます。そこで、「社楽」にまとめておきたいと思いました。

◎

まず、カタログ通販の『セシル物語』（2003年刊）。里中満智子さんのマンガです。全編カラーで、創業者・正岡道一の生い立ちから社長引退までを描いています。

『萬画 日本コロムビア80年史』（1990年刊）は石ノ森章太郎さん監修のマンガ。子どもらがコロムビアの本社を訪ねて社長から会社の歴史を学ぶという内容。約五〇ページの冊子なので気軽に読めます。

# マンガの社史も出ていきます。

石ノ森章太郎さんは『石ノ森章太郎のタイムトリップ 新機会製造会社“TOPY”』（1991年刊）という、車のホイールなどを製造する会社の社史にもイラストを描いています（こちらはマンガというより挿絵です）。

『漫画 博多明太子物語 ふくやの50年』（1997年刊）は、創業者・川原俊夫の生涯を振り返る内容。『博多明太子物語 ふくやの50年』と併せて刊行されました。穴吹工務店の『日々是前進 穴吹夏次物語』（1992年刊）も創業者の伝記。青柳祐介さんのマンガです。

薄い冊子だと、北海グループの鏡板開発

を描いた『1962 鏡板誕生秘話』（1996年刊）なども。

『漫画 私たちテルヤ電機です。』（2008年刊行）は、第二部が漫画で、第一部と第三部が対談という構成。テルヤ電機が編著で発行はアスコムから。会社の歴史をマンガにして出版社が発行したものは、松坂屋や帝国ホテルなど数冊ありますが、会社自身の関わった度合いがわからないので、今回は略します。

（裏面につづく）



(表面から)

つぎに部分的にマンガを用いている社史も探してみました。

アート引越センターの『アートコーポレーション株式会社30年史』(2006年刊)は各章の冒頭で、その章を紹介するマンガを使用。ドラえもんをキャラクターにした経緯も出ていますが、さすがに藤子・F・不二雄さん本人が描いたマンガではありませんでした。大本百松が創業した建設会社の『大本組の80年史』(1987年刊)は、巻頭に本宮ひろしさんの「百松魂―明日への挑戦」をカラーで掲載。健康食品の『ブルーベリーアイのわかさ生活です。』(2009年刊)も、ところどころトピックス的に本文の内容に沿ったマンガを挿入しています。『リョービ50年史』(1994年刊)は「貫ちゃんダイカスト工場見学記」が6ページ。マンガ家の浜田貫太郎さんが製品のできるまでを工場見学しながら知ってゆく内容です。スジャータの創業者夫妻の歩みを描いた『二人の道』(2011年刊)は、関係者の声とマンガを併用した構成でした。全国ダクト工業団体連合会の創立30周年記念誌『快適な環境づくりのために』(2005年刊)には、空調の

ダクトの役割を説明する「見えないところにダクトマン」を収録。マンガの部分だけ別冊としても刊行されています。

その他、絵本的なものも含めると、『東京ガス百年史』と同時に刊行された『東京ガス物語』(1986年刊)、鳥取瓦斯の『まんが絵本とつとりのほのお』(1988年刊)、『DGくんがきたニホンハンド株式会社50年のあゆみ』(1994年刊行)など、何冊か所蔵していますが、コマ割りをしたマンガではありませんでした。

インターネットでは、住友グループ広報委員会のホームページで「漫画 住友四百年源泉」を公開している例もあります。

見落としたマンガも多々あるとは思いますが、社史室をざっと見て目に留まった社史から紹介しました。個人的には「マンガ大国なのに、あまり刊行されていない。しかも、近刊が少ない」とやや意外に感じました。

マンガは、ページ数のわりに情報量が少ない反面、読みやすいのが利点です。社長、社員や関係者の顔をどう描くかなど、許諾や好み、作家とのすりあわせなど難しいことも多そうですが、表現手段のひとつとして、もっと増やしてもいいのかもしれないと思います。

(科学情報課／高田)

【新着社史から】…ご寄贈もお待ちしています。

社史は、会社の歴史を記録した本編だけでなく、付録的な部分が面白いことがあります。

『カンロ100年史』(2013年刊)には「カンロ飴を使った料理」のレシピが出ていました。「すき焼き」「洋風肉じゃが」「豚の角荷」「黒みつだんご」…など7点。醤油味の甘辛の料理に適しているようで「日本人の好みに味付けたカンロ飴は料理に使うことで、そのうまみとコクを増すこともできる。」と紹介されています。食欲の秋にいかがでしょう。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>